

毎月11日は

防災を考える日

問 危機管理課 防災安全係 ☎ 22-3402



「大雨時の道路冠水にご注意ください！」

近年、短時間に非常に激しい雨が降ることが増えています。道路が冠水すると、見た目以上に危険な状況となり、車の立往生や水没事故につながる恐れがあります。特に周囲より低くなっているアンダーパス（立体交差の下を通る道路）は短時間で浸水することがあり、注意が必要です。

① 冠水した道路には入らない

道路上の水は深さが分かりにくく、わずかな冠水でも車が動けなくなることがあります。また、水に隠れた側溝や段差に気付かず、事故につながる危険もあります。

道路が冠水した場合は、「無理に進入しない」「迂回ルートを利用する」「周囲の安全情報を確認する」ことを心掛けましょう。

② 日頃からハザードマップを確認しましょう

自宅や通勤・通学経路に浸水の危険がある場所がないか、ハザードマップで確認しておくことが大切です。市防災ポータルサイトでは、洪水や土砂災害などのリスクを地図上で確認できます。

③ 気象情報の早めの確認を

大雨が予想される際は、気象庁の防災気象情報や避難情報に注意し、早めの備えを行いましょう。危険度分布（キキクル）や河川の水位情報を活用することで、災害リスクの高まりを把握できます。



▼気仙沼市防災ポータルサイト



■ 防災基礎クイズ

Q 車を運転中に前方の道路が冠水していた時、最も安全な行動はどれでしょう？

- ① ゆっくり進む ② ハザードランプを点けて進む ③ 引き返して別の道路を利用する

毎月11日は「防災を考える日」です。震災の教訓や災害への日頃の備えなどについて、家庭や学校、職場、地域などで話し合ってみましょう。

答え：③ 引き返して別の道路を利用する（冠水した道路は見た目では水深がわかりません。無理に進入すると車の故障や立ち往生、水没事故につながる危険があります。安全な場所まで引き返し、別のルートを利用しましょう。）